

こどもの国建築関連資料整理及び展覧会開催報告

[論文]

小池 周子*

Report of Kodomonokuni Papers and Records and the Exhibition

KOIKE Shuko

Kodomonokuni (Children's Land) was a valuable place where many Metabolist buildings were constructed; NAMA confirmed the master plan and 14 facilities, including unbuilt projects, in our fond. Kodomonokuni items haven't been researched well, but we finished it with our exhibition. It covered the Master plan by ASADA Takashi, committee history, many architects and architecture stories, and admin's reality. This collection conveys the validity of the Metabolist architecture in Japan that underpinned and materialized Japan's rapid postwar economic growth. It will be new research items of Metabolism architecture history.

キーワード：こどもの国、メタボリズム、建築資料、展覧会

Kodomonokuni-Children's Land, Metabolism, Archival Items, Exhibition

1. はじめに

国立近現代建築資料館（以下、当館）には、2013年の開館以降、数多くの資料が収蔵され、現在は資料群の数も30を超えた。これまで外部からの資料を借用しての企画展等も行っていたが、収蔵品増に伴い、近年では積極的に収蔵品展を開催してゆく意向にある。

令和4年度（2021年）収蔵品展として、こどもの国建築関連資料をあらためて整理し、「こどもの国のデザイン——自然・未来・メタボリズム建築」の開催となった。この「こどもの国」におけるメタボリストたちの饗宴は、メタボリズム研究において、これまで言及できるほど資料整理ができておらず、数々のメタボリズム関連の出版や展覧会では、軽く触れられるに止まっていた。今回の展示に際し、本資料を改めて整理することでメタボリズムにおける「こどもの国」の成果をまとめることとなった。本稿では、展覧会では伝えきれなかった資料群の特性などを紹介することで、こどもの国資料整理の総括としたい。

2. 資料収集経緯

この資料群は、財団法人こどもの国建設協力会にて作成された後、運営組織の中心となっていた朝日新聞東京本社内に保管されることとなる。1974年の財団法人こどもの国協力会への改組、2008年のこどもの国協力会解散により、資料の一部が、保管先の朝日新聞社より現在の社会福祉法人こどもの国協会へ移管された。2016年、こどもの国園長であった三國治氏が当館へ資

料寄贈の意思を伝えたことにより、調査が始まり、2017年5月に当館への寄贈手続きが完了している。

これら資料は、1965年の開園時から1974年の間に作成されたもので、1970年の万国博覧会を跨いでおり、まさにメタボリズム運動の実作の始まりから、各々がそれぞれの活動へと突き進んでゆく時期を網羅した記録といえる。ここには1970年の万国博覧会へと昇華されて行く前の、メタボリストたちの試行錯誤が垣間見える。

3. 資料の構成

本資料群は、こどもの国の施設建設にあたって作成された事業記録に関する書類、工事契約書、寄付金関係書類などからなり、1959年～1974年の間にこどもの国建設協力会においてまとめられ、保管されていた。施設の設計を担当した建築事務所が作成した青焼図面も含まれ、それらは竣工した物の他に、多数提案された未完のプロジェクトも存在する。資料は、案件や内容に沿って47点のファイル分けがされており、これらはいわゆる「施主」側の資料である。そのため、議事録や工事中の週報といった資料が多く含まれ、施設誕生までのドキュメントとなっている。

もっとも多数を占める資料は、予算関係の管理資料である。寄付金捻出の足跡がしっかりと見て取れるこれら書類は、これまでの閲覧では公表不可としていた。しかし、今回の展覧会を機に、こどもの国協会館長、副館長、事務局長と相談の上、個人住所の情報以外は50

*国立近現代建築資料館 研究補佐員、修士（工学）

年以上経過しているので開示可とし、当時の貴重な契約書なども公開することとなった。今後の資料閲覧の対応策にもつながる確認を得ることができた。

4. 「こどもの国」施設概要

1959年4月の皇太子殿下（現・上皇陛下）の御結婚に際して全国からお祝い金が寄せられていた。「子供のための施設をつくりたい」という殿下夫妻の御意思により、本施設の検討が進められることとなる。本計画は、厚生省（現・厚生労働省）主導のもと、子供のための施設を作りたいというニュースを最初に報道した朝日新聞¹が協力して組織化され、1960年に有識者ら19名による「中央児童厚生施設特別委員会」が発足し、骨格が検討された。当初ディズニーランドのようなレジャー施設の案もあったが²、横浜の雄大な自然を活かして、子供たちが自ら遊びを生み出しながら成長してゆけるような施設として計画されることとなる。当時公害問題が深刻化していたこともあり、自然派な施設づくりも後押しされていたという。

その後1961年6月には「こどもの国建設推進委員会」が誕生し、委員会には1960年に発足したメタボリズムメンバーである浅田孝（1921-1990）が参加することとなる。浅田によって、前述の方針に則り、各委員らの意見を取り入れながら、マスタープランがまとめられた。一方、浅田個人としては、多くの諸施設を建設するよりも、何もない真の自然の中で子供たちが自由に遊びを生み出せる場にしたいと再三口にしていたという。³

1963年に関連施設の設計を担う「設計集団」が発足され、浅田が中心となり、数多くのメタボリズムメンバーが一同に会することとなる。浅田のほか、大高正人、黒川紀章、菊竹清訓というメタボリズムグループの中核メンバーに加え、大谷幸夫、鈴木彰といった当時若手の建築家、さらにイサム・ノグチの特別参加により、9つのプロジェクトが竣工する。また設計連合には、柳宗理や栗津潔といったデザイナーも参加しており、議事録には彼らの言動の記録が残っている。こどもの国の施設設計は、常にこの設計集団の打ち合わせのもとに担当者が決められていたことがうかがえる。同時に、浅田の葛藤がうかがえる言付けの記録もあり、激変する時代の中でリーダーとしての重圧を感じさせるものがある。

1,260万円（1960年時点）のお祝い金で始められた計画は、計画全容がまとめられた際には20億円もの巨大プロジェクトになっていた⁴。国費および諸団体や個人の多大な寄付と協力を得て、1965年に開園した。その

後、全国各地に誕生する類似のこども施設に、大きな影響を与えることとなる。

現存しているのは、皇太子記念館（現・平成記念館）とフラワーシェルター、イサム・ノグチの遊具、オクテトラ、ゲートなどである。それ以外はいずれも老朽化、実用性の向上等の理由により取り壊されている。皇太子記念館は、開館50周年を前に2021年に大規模な改修を行い、現在の大屋根大空間になった。当初白色だったフラワーシェルターも、現在は黄色に塗り替えられている。

【主な建築物の名称/設計者/竣工年/取壊し年】

野外劇場 / 浅田孝 / 1962 ※計画のみ
自然プール / 浅田孝 / 1964 / 使用中止
フラワーシェルター / 黒川紀章 / 1964
修学旅行記念館 / 大高正人 / 1964 ※計画のみ
セントラルロッジ / 黒川紀章 / 1965 / 1986
アンデルセン記念の家 / 黒川紀章 / 1965 / 1985
交通訓練センター / 鈴木彰 / 1965 / 1992
A地区児童遊園・児童館 / イサム・ノグチ、大谷幸夫 / 1966 / 1985
屋外スケート場 A / イサム・ノグチ / 1966 / 1976
公衆便所計画 / 黒川紀章 / 1966 ※計画のみ
林間学校 / 菊竹清訓 / 1967 / 1981
屋外スケート場 B / イサム・ノグチ / 1968 / 1976
皇太子記念館（現・平成記念館） / 浅田孝 / 1972
サッカー場クラブハウス / 浅田孝 / 1972 / 2011年改修

上記のほか、イサム・ノグチによる遊具、作成者不明だがキャンプ場計画、プロダクトデザイナーらによるベンチやゴミ箱といった園内プロダクトの企画も進められており、実現には至らなかった計画案も多数資料が残されている。

各作品解説は、展覧会図録を参照いただきたい。

5. 展覧会概要

展覧会は、浅田孝によるマスタープランのゾーニングをもとに資料を展開した。（なお、現在このゾーニング計画は園内地図等でも使用されていない）

A地区：やや手を加えた広大な緑地と、対比される人工的な施設を中心とするスケールのある空間
皇太子記念館（現・平成記念館） / 浅田孝 / 1972
A地区児童遊園・児童館 / イサム・ノグチ、大谷幸夫 / 1966
B地区：水を中心とする地域。魅力ある活動と静かな風景との対比

自然プール / 浅田孝 / 1964

セントラルロッジ / 黒川紀章 / 1965

アンデルセン記念の家 / 黒川紀章 / 1965

C 地区：現存の状況を保存した野趣ある自然。荒々しい活動のできる地域

フラワーシェルター / 黒川紀章 / 1964

修学旅行記念館 / 大高正人 / 1964 ※計画のみ

D 地区：A・B・C の3地帯をわける静かな休息の空間
交通訓練センター / 鈴木彰 / 1965

林間学校 / 菊竹清訓 / 1967

会場では、当時の A～D 地区に沿ってプロジェクト展示を行い、会場中央では、現在のこどもの国の様子を交え、現在とかつての姿が見えるような動画放映を行った。また開園同時に制作された広報物や、大々的に取り上げられた雑誌原本（『approach 1966年秋号』竹中工務店、『World Architecture 4』1967年、STUDIO VISTA LONDON）を展示した。

本資料群は多くが青焼図面となっており、資料保護の観点から、年間展示最大30日間の資料にあたるため、会期中に複製との入れ替えを行っている。同時に、こどもの国資料群に青焼図面がある菊竹清訓の林間学校、大高正人の修学旅行記念館については、菊竹資料群、大高資料群でこれらプロジェクトの原図やスケッチ資料も収蔵されていたため、展覧会では原資料を展示することができた。当館の資料群を跨いだ展覧会計画は本展が初めてのケースとなり、今後ますます同様の試みへの期待につながる機会となった。

展覧会に際して制作された図録は、全40頁で、各プロジェクト解説並びに図版、論考が掲載され、執筆は当館企画主任建築資料調査官・小林克弘と筆者が担当した。（なお、図録には「併設」新規収蔵資料紹介の解説及び図版4頁も含まれる。）

6. 「設計集団」資料

今回の展示では一部しか出せなかった資料について少しまとめておきたい。繰り返しになるが、本資料群は施主側が保管していた資料であり、建築家から預かる資料とは毛色が異なる。かつ、行政も絡んだプロジェクトのため、多様な書面が含まれている。なかでも興味深かったのが、「設計集団」と書かれたファイルである。事務方（朝日新聞と入った便箋による記録）による議事録は、まずこどもの国がどう施設と自然を守っていくのかなど、当時の関係者による各々の意見が取り交わされており、息遣いを感じるものである。

また、建築家の職能に対する言及は貴重である。日本建築学会（1886年発足）は明治時代に設立され、日本の建築学を牽引し、世界に羽ばたく建築家の輩出を促しているが、わが国における職能としての「建築家」確立は、日本の大工文化の中で確立するのに時間を要していた。日本建築家協会は、日本建築設計監理協会として1947年設立し、1955年の国際建築家連合（UIA）への加盟に伴い、現・日本建築家協会と改組する。建築家の職能を社会に認めてもらわなければ、という時流の矢先の大プロジェクトがこの「こどもの国」でもあったといえよう。また発足間もない頃の「設計集団」の進行方向などが、模索しながら形となっていた様相がよく見て取れる。本ファイルには、日本建築家協会、四会連合会共通の工事請負約款が含まれており、当時の厚生省基準だった2.7%に対し、日本建築家協会の主張する5%との折り合いについて、度々議論が展開されている。結果、建築家を擁護する立場として、安い設計料での契約は道義に反するという姿勢を守り、事務方は費用工面に繰り出すこととなる。また提案案件（資料での記述は「委図設計料」）についても単価が取り決められ、大高の修学旅行記念館など、実現しなかった案件のプレゼン資料の精度の高さにも納得がいく。

7. 結びにかえて

先にも述べたが、本資料群は「施主側」が保管していた資料であり、図面のみならず書類が多数を占めるものであった。図面は基本的に青焼で、議事録、最も多いのは予算にかかる資料である。そのため紙資料が展示の9割を占め、なおかつ建築関係者の間でもそこまで認知度が高くない、隠れたメタボリズムストーリーに関する、かなりニッチな展示となった。

資料調査を行いながら、メタボリストたちの壮大な夢と事務方の努力がひしひしと伝わるばかりであった。メタボリストたちの作品と言え、70年の万博が真っ先に思い浮かび、戦後の近代建築を華々しく飾ったイメージがある。一方、このこどもの国施設建設には「現実におけるメタボリズム」、建築家が社会とどう対峙してゆくのか、どう現実を生み出すかを模索し続けた質朴なメタボリズムの歴史がある。メタボリストたちが、日々協会側と議論を交わし、自身が考えるメタボリズム建築をいかに着地させようか、と切磋琢磨する姿がここにある。やはり展示となると絵や写真が主となってしまう、この肝となるところを見せきれなかった点はやや悔やまれるが、本稿にてその補完となることを願う。

収蔵後、あまり日の目を当てられていなかった貴重

な資料の公開と、それらに伴う追加整理をしたことで、本資料群はアーカイブズとして作業を完了した。本展後に本資料の資料閲覧は微増したが、今後のメタボリズム研究への大きな一隊となることに期待したい。

注

- 1 國治編『こどもの国 50年史』社会福祉法人こどもの国協会、朝日新聞出版、2016年、42-43頁
- 2 同上、46-47頁
- 3 同上、58頁
- 4 同上、44頁

なお、こどもの国の経緯については、同書を参照した。

【展覧会】

「こどもの国」のデザイン——自然・未来・メタボリズム建築

〔併設〕新規収蔵資料紹介

会期：2022年6月21日（火）～8月28日（日）

主催：文化庁

協力：公益財団法人東京都公園協会

会場：文化庁国立近現代建築資料館

休館日：毎週月曜日（但し、7月18日〔月・祝〕は開館し、7月19日〔火〕休館）

企画：文化庁国立近現代建築資料館

小林克弘（主任建築資料調査官）

加藤道夫（主任建築資料調査官）

小池周子（研究補佐員）

寺内朋子（研究補佐員）

木下紗耶子（研究補佐員）

高瀬道乃（研究補佐員）

門間光（研究補佐員）

会場展示

翻訳：坂本 和子（英語）、朴 玉順（韓国語）、Eric Yu（中国語）

アートディレクション：吉田 貴久（合同会社胡桃ヶ谷デザイン室）

会場制作・設営：株式会社芸宣、株式会社ブランチ、大額株式会社、竹下誠司（合同会社サムサラ）

来館者：3,563人（開館日60日）

【図録】

発行・監修：文化庁

編集：文化庁国立近現代建築資料館

デザイン：吉田 貴久（合同会社胡桃ヶ谷デザイン室）

翻訳：坂本 和子

印刷・製本：株式会社リーフ

https://nama.bunka.go.jp/wp-content/uploads/2023/02/exhibition2022_kodomonokuni.pdf



図1 「こどもの国」のデザイン展の展示風景



図2 菊竹清訓による「林間学校」スケッチ並びに外観写真スライド



図3 設計集団資料の紹介

（2023年6月15日原稿受理）

令和４年度収蔵品展「こどもの国」のデザイン ― 自然・未来・メタボリズム建築 出品リスト
Kodomonokuni : Children's Land -Nature, Future and Metabolism Architecture

A地区 皇太子記念館 設計：浅田孝	Area A Memorial Hall ASADA Takashi
平面配置図 1 : 300 1966 青焼 778 × 1074 複製	Plot Plan Blue Print Reproduction
断面図 - - プリント 255 × 360	Section Print
立面図 (1968年案) 1 : 100 プリント 210 × 297	Elevation, Scheme of 1968 Print
立面図 (最終案) - プリント 255 × 360	Elevation, Final Scheme Print
1階平面図 (1968年案) 1 : 100 - 青焼 850 × 700	First Floor Plan, Scheme of 1968 Blue Print
パース (1968年案) - - インク、スクリーントーン 256 × 358	Perspective Drawing, Scheme of 1968 Ink, Screen Tone
1階平面図 (科学館と一体整備案) 1 : 500 1962 青焼 426 × 613	First Floor Plan, Scheme of 1962 Blue Print Integrated Plan with the Science Hall
正面図 A-A' 縦断面図 (科学館と一体整備案) 1 : 500 1962 青焼 430 × 622	Elevation and A-A' Longitudinal Section, Scheme of 1962 Blue Print Integrated Plan with the Science Hall
1・2階平面図、屋根伏図、南立面図、A-A' 断面図 (1965年12月、五角形平面案) 1 : 500 1965 青焼 423 × 594	First Floor, Second Floor and Roof Plan, South Elevation, A-A' Section Scheme of 1965 Blue Print Scheme with Pentagon Plan
雪をまとった記念館 撮影：石橋三夫 2014	Memorial Hall Covered with snow Photo by ISHIBASHI Mitsuo
A地区 児童遊園・児童館 設計：大谷幸夫、イサム・ノグチ	Area A Children's Playground and Pavilion OTANI Sachio, NOGUCHI Isamu
配置図 1 : 300 1966 青焼 841 × 1189	Plot Plan Blue Print
野外スケート場 撮影：朝日新聞社 1966	Outdoor Skating Rink Photo by the Asahi Shimbun
平面詳細図 1 : 100 - 青焼 780 × 1080	Detailed Plan Drawing Blue Print
矩計図 詳細図 1 : 20, 1 : 30, 1 : 5 - 青焼 545 × 790	Detailed Section Drawing Blue Print
「公衆便所」、平面図 立面図 断面図 展開図 詳細図 天井伏図 1 : 50, 1 : 20 - 青焼 594 × 841	Drawings of Public Toilet - Plan, Elevation, Section, Interior Elevation, Detail, Ceiling Plan Blue Print
イサム・ノグチの遊具「ピラミッド」、詳細図 1 : 50 - 青焼 594 × 841	Pyramid Designed by NOGUCHI Isamu Blue Print
イサム・ノグチの遊具「原始部落」、詳細図 1 : 50 - 青焼 594 × 841	Primitive Village Designed by NOGUCHI Isamu Blue Print
雪化粧のアプローチ通路 撮影：石橋三夫 2014	Approach Maked up by Snow Photo by ISHIBASHI Mitsuo
A地区 児童館初期案 設計：大谷幸夫	Area A Children's Playground and Pavilion (Early Scheme) OTANI Sachio
鳥瞰図 - - 青焼 593 × 448 複製	Bird's Eye View Blue Print Reproduction
立面図・断面図 1 : 500 - 青焼 421 × 616 複製	Elevation and Section Blue Print Reproduction
配置図・平面図 1 : 500 - 青焼 421 × 621	Plot Plan and Floor Plan Blue Print
A地区 関連資料	Area A Materials
パース - - プリント 255 × 360	Perspective Drawing Print
『プロジェクトジャパン メタボリズムは語る』 2012 平凡社	"Project Japan, Metabolism Talks ..." 2012 Heibon-sha
児童館・児童遊園工事写真 - スクラップブック 300 × 230	Public Toilet under Construction Photo by NAMA
"Anthologie: Aires de jeux au Japon" 2019 Vincent Romany Tombolo Presses	"Anthologie: Aires de jeux au Japon" 2019 Vincent Romany Tombolo Presses
『建築』 1966年8月号 青銅社	"Kenchiku" August, 1966 Seido-sha
B地区 自然プール 設計：浅田孝	Area B Natural Swimming Pool ASADA Takashi
第2次案略設計図 1 : 500, 1 : 300 1962 青焼 436 × 592	Second Scheme of Natural Swimming Pool Blue Print
自然プール、奥に人造湖を見る 提供：社会福祉法人こどもの国協会	Natural Swimming Pool Looking toward Artificial Lake Courtesy of Social Welfare Corporation Kodomo no Kuni Association
契約書 1963 書類 260 × 365	Contract Document Document
B地区 セントラルロッジ 設計：黒川紀章	Area B Central Loage KUROKAWA Kisho
野外劇場工事写真 40年6月20日撮影 1965 アルバム 180 × 250	Exterior View
週間工程表及び工程写真 1965 ファイル 305 × 230	Under Construction
立面図 1 : 100 - 青焼 594 × 841	Elevation Blue Print
断面図 1 : 100 - 青焼 594 × 841	Section Blue Print
平面図 1 : 100 1964 青焼 393 × 810 複製	Plan Blue Print Reproduction
平面図 1 : 100 1964 青焼 394 × 808	Plan Blue Print
配置図 1 : 300 1964 青焼 395 × 790	Plot Plan Blue Print
『METABOLISM 1960』 1960 川添登編集 美術出版社	"METABOLISM 1960" KAWAZOE Noboru ed. BIJYUTSU SHUPPAN-SHA
B地区 アンデルセン記念の家 設計：黒川紀章	Area B Andersen Memorial KUROKAWA Kisho
外観 絵ハガキ 140 × 100	Exterior View Postcard
詳細図 1 : 20 - 青焼 442 × 800 複製	Detailed Section Blue Print Reproduction
平面図 1 : 50 - 青焼 393 × 780	Plan Blue Print
立面図・断面図 1 : 50 - 青焼 390 × 790 複製	Elevation and Section Blue Print Reproduction
建設中の様子 ネガベタ焼 180 × 260	In Construction Contact Print
起工式ご案内 1965 書類 260 × 397	Announcement of Groundbreaking Ceremony Document
『黒川紀章の世界』 1975 毎日新聞社	"Kurokawa Kisho no Sekai" (The world of KUROKAWA Kisho) Mainichi Shinbunsha
C地区 フラワーシェルター 設計：黒川紀章	Area C Flower Shelter KUROKAWA Kisho
「閉じた花」の内観 撮影：文化庁国立近現代建築資料館 2021	Interior Space of Closed Flower Photo by NAMA
「開いた花」の外観 撮影：文化庁国立近現代建築資料館 2021	Exterior View of Blooming Flower Photo by NAMA
『建築』 1964年9月号 青銅社	"Kenchiku" September, 1964 Seido-sha

C地区 修学旅行会館 設計：大高正人	Area C Children's Hostel OTAKA Masato
配置図 1:500 1964 裏焼 420×591	Plot Plan Reversal Print
鳥瞰ドローイング - - 裏焼 420×591	Bird's Eye Drawing Reversal Print
1, 2, 3, 4階平面図 1:500 1964 裏焼 420×591	Plan of First, Second, Third and Forth Floor Reversal Print
南立面図、東立面図、断面図 1:500 1964 裏焼 420×591	South and East Elevation、Section Reversal Print
修学旅行会館ファイル 書類 290×220	File of Children's Hostel Document
D地区 交通訓練センター 設計：鈴木彰	Area D Traffic Training Center SUZUKI Akira
交通訓練施設写真[撮影：40年7月] 1965 アルバム 180×250	Traffic Training Center Photos [Photo by 1965 . May 16th] Album
立面図 1:200 - 青焼 545×817	Elevation Blue Print
配置図 1:500 - 青焼 546×819	Plot Plan Blue Print
1階平面図 1:200 - 青焼 542×821	First Floor Plan Blue Print
2階平面図 1:200 - 青焼 549×820	Second Floor Plan Blue Print
『建築文化』 1965年10月号 彰国社	"Kenchiku Bunka" October 1965 Shokoku-sha
D地区 林間学校 設計：菊竹清訓	Area D Summer Camp KIKUTAKE Kiyonori
初期のイメージ・ドローイング - - 鉛筆、絵具、トレーシングペーパー 454×720	Drawing of Early Image Pencil and Paints on Tracing Paper
配置・立面の比較検討図 1:3000, 1:1000 - 鉛筆、インク、トレーシングペーパー 556×795	Comparative Study Drawing on Plot Plan and Elevation Pencil and Ink on Tracing Paper
鳥瞰図 - - 青焼 423×595	Bird's Eye View Blue Print
立面図、平面図、断面図 1:100, 1:50 - 鉛筆、インク、トレーシングペーパー 510×719	Elevation, Plan, Section Pencil and Ink on Tracing Paper
南立面図、平面図、断面図 1:100, 1:500 - 鉛筆、インク、トレーシングペーパー 515×733	South Elevation, Plan, Section Pencil and Ink on Tracing Paper
立面断面スケッチ - - 鉛筆、色鉛筆、インク、トレーシングペーパー 387×794	Sketch of Elevation and Section Pencil, Color Pencil and Ink on Tracing Paper
初期のエスキス - - 鉛筆、色鉛筆、インク、トレーシングペーパー 500×610	Early Scheme Pencil, Color Pencil, Ink on Tracing Paper
『菊竹清訓作品集1「型」の展開』 1990 求龍堂	"Work by KIKUNORI KIKUTAKE 1 Prototype Developments" Kyuryudo
『新建築』 1967年9月号 新建築社	"Shinken-chiku" September, 1967 Shinken-chiku-sha
一般図 1:1000, 1:100, 1:200 1965 鉛筆、インク、トレーシングペーパー 536×790	General Drawings Pencil and Ink on Tracing Paper
M矩計図 1:50 1965 鉛筆、インク、トレーシングペーパー 572×1038	M Sectional Detail Pencil and Ink on Tracing Paper
関連資料	Related Materials
「設計集団」出席者 1964 書類 260×180	"Design Team" List Document
出席者返信はがき 書類 140×90	Reply Postcards Document
設計集団ファイル 書類 275×205	File of Design Team Document
募金計画表 1967 書類 250×360	Fundraising Plan Document
募金趣意書 書類 170×710	Donation Prospectus Document
マスタープラン 1:3000 1962 青焼、色鉛筆 590×442	Master Plan Blue Print, Color Pencil
『こどもの国三十年史』 1996 池田邦二編、社会福祉法人こどもの国協会	"Kodomonokuni's 30-year History" IKEDA Kuniji (ed.), Kodomonokuni Kyokai
『こどもの国50年史』 2016 三國治編、社会福祉法人こどもの国協会、朝日新聞出版	"Kodomonokuni's 50-year History" MIKUNI Osamu (ed.), Kodomonokuni Kyokai, Asahi Shimbun Publications
アンビルト計画案	Unbuilt Projects
野外劇場、第二次案略設計図 1:500 1962 青焼 434×593	The Second Scheme Design for Open-air Theater Blue Print
キャンプ場配置図 1:1000 - 青焼 595×438 複製	Plan for Camping Site Blue Print Reproduction
児童館(初期案)計画 1965 プリント 提供：大谷研究室	Children's Pavilion (Early Scheme) Print Courtesy of Sachio Otani + OTANI ASSOCIATES
公衆便所、平面図 標準詳細図 1:100, 1:20 1966 青焼 528×772	Public Toilet, Plan and Standard Detail Blue Print
公衆便所、平面図 立面図 1:100 1966 青焼 527×774 複製	Public Toilet, Plan and Elevation Blue Print Reproduction
中央円形台	Cebter Display
太陽と緑の100万平方メートルこどもの国 パンフレット 260×180	Kodomonokuni [Children's Land] Pamphlet
こどもの国 チラシ 260×180	Kodomonokuni [Children's Land] Brochure
恵まれた自然環境で楽しい遊びのくふうしよう こどもの国 パンフレット 260×180	Kodomonokuni [Children's Land] Pamphlet
こどもの国 自然と創意の新しい遊び場 パンフレット 260×180	Kodomonokuni [Children's Land] Pamphlet
こどもの国 パンフレット 200×730	Kodomonokuni [Children's Land] Pamphlet
こどもの国案内図 1:300 青焼 516×420 児童遊園徒歩池建設予定資料図面を加工	Guide Map Blue Print Edited Version of Drawing of Children's Playground and Walking Pond Construction Site
『World Architecture 4』 1967 STUDIO VISTA LONDON	(英語のみ)
季刊誌『approach』 1966年秋号 竹中工務店	Quarterly Magazine "approach" Autumn 1966 TAKENAKA CORPORATION
こどもの国デザインスライドショー 制作・編集：文化庁国立近現代建築資料館 8' 50"	Slide show of KODOMONOKUNI [Children's Land] Produced by NAMA
ロビー動画	Movies at the Lobby
1部：こどもの国の歴史(冒頭) DVD こどもの国より 2017 制作：社会福祉法人 こどもの国協会	Chap.1 The history of KODOMONOKUNI [Children's Land] (Bigining Part) From DVD of KODOMONOKUNI
2部：「こどもの国」の建築家・デザイナー 制作・編集：文化庁国立近現代建築資料館 10' 25"	Produced by Social Welfare Corpration the Kodomonokuni Association Chap.2 "Design Team" of the KODOMONOKUNI Produced by NAMA